第2回 こども園部会 会議報告

日 時:令和7年6月2日(月) 午後7時~8時10分

場 所:岡谷市役所 603 会議室

○次 第

- 1.川岸学園開校・開園までのスケジュールについて
2. 開園時期について
- 3.交流活動について

○部会で確認した内容

- ①第1回こども園部会で示したスケジュール(案)より少し具体化をしました。
こども園移行までのスケジュール表内に「担当」区分を設けて整備室・保育園・保護者会の欄を新たに追加して、担当を明確にしました。
- ②開園時期の選択肢として、令和9年度途中から又は令和10年4月から開園した場合の期待される効果(メリット)と見込まれる課題(デメリット)を示すとともに、市の考え方として、どちらの時期になっても対応をするが、一番は子どもにとって最適な時期とすることが大切だということを説明し部会員の意見を伺った。
- ③交流活動については、前保護者会長さんより、保護者を含めた交流を実施したらどうかというご意見がありましたので、どんな交流ができるか意見交換を行いました。
- ④園名について、認定こども園および義務教育学校の総称名として“岡谷市立 ●●学園”のような設定をするか否かを検討することについて、学校と一緒に考えていくことや過去に開園した西堀保育園とみなと保育園の名称検討についての内容を確認しました。

○部会で出された主な意見

- ▶開園時期については、年度途中での開園となるとやはり、4月から積み重ねてきたものが、また一からになってしまうので、今まで順調に成長してきた子ども達のことを考えると成長の妨げになってしまうのではないかなど、心配になってしまう。
- ▶新たな友達関係を築くのに時間がかかり、なかなかクラスに馴染めない子もいる。半年の時間を有効に使って両園の交流を深めることが望ましい。
- ▶保護者会としても、保護者会の編制が必要になるため、2つの組織を1つにするのは難易度が高い作業になると思う。早めに準備をしていく必要があると思うが、引継ぎ等も含めて年度途中の開園では大変になると思われる。
- ▶園服は、年度途中で開園した場合、新たなこども園で新しい園服になった場合は、年長児は半年間の通園のために園服を新調するのか。
⇒岡谷小学校が統合した際、岡谷小学校から統合対象校の田中小学校と神明小学校に行く児童の運動着等は、統一せず各学校の運動着をそのまま着用するなど柔軟な運用とした。

- ▶保護者を含む交流については、既存の園行事に保護者が参加する方法もいいと思うが、平日の昼間に参加できない保護者もいると思うので、今後行う予定の保護者説明会などを、両園合同で行い、保護者同士の顔合わせを兼ねるなどもいいのではないか。
- ▶2園の保育園を統合して、こども園が新設されると送迎者が増加することに伴い、園に入る車と出る車で県道が渋滞するのではないか。
⇒県道や市道の安全対策等については、現在、市の建設水道部や国等の補助金を活用して地域の方が住みやすい環境を整えていきたいと考えており、今後、関係部署と連携を図りながら、検討を深めてまいりたい。

○次回の部会での検討事項

- ・こども園の開園時期に関する、保護者懇談会などの意見を受けて、開園時期の方向性を確認

○次回の日程について

- ・令和7年7月中

【部会員の意見等】

●開園時期について

- ・保育士の立場として、9月途中で開園した場合、運動会は終了しているが、発表会に向けて準備をする大切な時期である。年度途中での開園となるとやはり、4月から積み重ねてきたものが、また一からになってしまうので、今まで順調に成長してきた子ども達のことを考えると成長の妨げになってしまうのではないかなど、心配になってしまう。
- ・子ども達は環境の変化に大変敏感である。新たなお友達と一緒に新しい園舎で生活するのであれば、準備期間を設けて4月からのスタートが望ましいと考える。もし、年度途中での開園となっても保育士としては、子ども達が混乱をしないよう精一杯、対応していきたい。
- ・他の保育士からの意見も聞いてきた。年度途中で開園した場合、2つの園が1つになるため、担任が変わる園児への配慮が大事になってくる。
- ・年度途中での開園となると発表会前に4月からの積み重ねが一からになってしまうため、やはり年度途中での開園は不安である。教室の準備や引越をしっかりと行ったうえで、4月からの開園に臨んだ方が良いと考える。
- ・今の説明を聞いた率直な意見としては令和10年4月からの開園が良いと思った。
- ・うちの子は、新しい環境でも他の子と仲良くなったが、他の保護者からの話を聞くと、新たな友達関係を築くのに時間がかかり、なかなかクラスに馴染めない子もいる。半年の時間を有効に使って両園の交流を深めることが望ましい。
- ・保護者会としても、保護者会の編制が必要になるため、2つの組織を1つにするのは難易度が高い作業になると思う。今年度が始まってあっという間に2か月経ったが、年度途中開園になると、その年の役員は半年だけで役員を終えるのか、それとも、前の年から継続でやるのかなど、決めることが多くなるので、早めに準備をしていく必要があると思う。引継ぎ等も含めて年度途中での開園では、大変になると思われる。
- ・年度途中での開園になると保護者会のあり方、会費の集金方法、その年度をどのように運営していくかなど、大変課題が多いと感じる。
- ・園児のことを考えると令和10年4月の開園が望ましい。
- ・現年少児については、令和9年度当初から、川岸保育園と成田保育園の合同のクラス編成にして、川岸保育園で保育を行い、園舎が完成をしたら引越をすることは可能か。

(市)

⇒川岸保育園の保育室の大きさや人員配置などを考えると全てのクラスを合同にして、川岸保育園のみで教育・保育を行うのは困難である。例えば、年長を川岸保育園、年中は成田保育園にして、クラスごと園を分散すれば可能になるかもしれないが、保護者等の同意も必要であり、今後の検討事項として研究していきたい。西堀保育園は新園舎が12月に完成をして、クラス編成や担任が変わらず、旧東堀保育園から引越しをしてきたので、特段、トラブル等はなかった。

- ・保護者の立場から発言をさせていただくと、やはり子どもの事を最優先に考えれば、年度途中だと、どうしても子どもに負担がかかると思われるので、令和10年

4月の開園が望ましい。年度途中で園舎が完成をしたら、交流の場で新園舎を使用したり、鶴峯公園に両園で遊びに行ったりして仲良くなる期間を設けて、半年後に一緒になることをイメージさせながら、ストレスなく移行をさせてあげたい。

- ・保護者会としても、成田保育園の保護者会がどのような動きをしているか分からないので、これからお互いに情報共有をしていくが、年度途中の開園になると会費額や徴収方法等を検討することが多いので、令和10年4月の開園から新体制としてスタートした方がありがたい。
- ・また、先生方の負担を考えると年度途中ではなく、年度当初に新体制をスタートさせてより良い教育保育を実施してもらいたい。
- ・公立の東堀保育園から信学会に移行をした際は、年長児と年中児はクラスが変わらずに園舎が変わって4月の開園を迎えたが、新園舎での生活に慣れるまでに時間を要した。年度当初でも園舎が変わっただけで、混乱を生じたので、子ども達の精神的な安定や安全面を考慮すると、令和10年4月の開園が望ましい。今考えると、東堀こども園も開園前に新園舎に沢山行って、慣れていく期間が必要だったと考える。
- ・栄養士の立場から発言をすると、全ての調理員さんが新しい給食室でかつ新しい設備で調理をすることに加えて、新しい園児のアレルギー対応をすることは、最初は、相当、慎重になって調理をする必要がある。園舎完成後の半年間で、しっかり研修と異動があれば引継ぎを行ったうえで、スタートした方が良いため、4月からの開園が望ましい。
- ・皆さんと同じ意見であり、年度途中での開園になると、子ども達が不安定になることが予想されるので、子ども達や保護者、先生方にとって負担が少なくスタートができる年度当初の開園が望ましい。
- ・対象になる現年少児は、新園舎で生活はできないが、沢山の思い出が詰まった園舎で卒園することは、子ども達や保護者にとって、とてもよい思い出になる。

●園服について

- ・年度途中で開園した場合、新たなこども園で新しい園服になった場合は、年長児は半年間の通園のために園服を新調するのか。

(市)

⇒岡谷小学校が統合した際、岡谷小学校から統合対象校の田中小学校と神明小学校に行く児童の運動着等は、統一せず、各学校の運動着をそのまま着用するなど柔軟な運用とした。

(東こども園)

- ・東堀こども園を新設した際は、旧東堀保育園に在園していた年長児と年中児は、公立の園服を着ても良いことにしたが、年少児は、新たな園服での運用とした。

●交流について

- ・保護者を含めた交流について、仮に平日の昼間に実施した場合、共働きの家庭が増えている保護者に対して交流に出てもらおうのもかなり負担だと感じる。この交流は、今年度やる保護者会の行事として保護者会主催で実施をするのか、また保護者は必ず出なければいけないのか、それとも任意での参加になるのか。

(市)

⇒前会長からは、新園の開園後に初めて顔合わせをするよりは、事前に何度か保護者も含めて顔合わせをしておけばスムーズな移行に繋がるのではないかとの想いでご発言をいただきました。スケジュール案でお示しをしておりますが、今年度は、両園保護者の交流や既存の園行事に参加するなどを検討していただく期間だと考えておりますので、今年度、必ず保護者同士の交流を行わなければいけないということではございません。

- ・保護者を含む交流については、既存の園行事に保護者が参加する方法もいいと思うが、平日の昼間に参加できない保護者もいると思うので、今後行う予定の保護者説明会などを、両園合同で行い、保護者同士の顔合わせを兼ねるなどもいいのではないかと。
- ・私は長地の横川から引越しをして川岸に来て、当初は、周りに知り合いがおらず、保護者同士のグループが出来ていたので、一人の時間も長く不安だった。そういった立場からすると保護者同士の交流を行うことには理解できる。
- ・保護者交流のやり方については、例えば参観日等の行事に親も交ざって交流することも良いと思うが、参観日の後の保護者懇談の場や小グループだと私も意見を出しやすいので、そういった場での交流は有効的だと思う。
- ・以前、湊保育園に勤務をしていた時に、湊小学校の先生方とは密に連絡をとり、良い連携を図れていた。年長児の参観日の際に、湊小学校の校長が保育園に来て小学校の様子についての講話をしてくださった。また参観日の後に行った保護者懇談時では、グループに分かれて、お家での様子を意見交換して、悩みなどを共有できたことにより保護者の不安解消に繋がったので、保護者同士のグループワークは有効だと感じた。

(市)

⇒保護者を含む交流については、子ども達と合同で行うか、子ども達とは別々で交流するかは、今後も検討が必要であり、日程調整等や駐車場の課題もあると思う。今の話を聞いた中では、両園の参観日の後の保護者懇談会で交流するなど良い案だと思うので、今後、園・保護者会と一緒に検討したい。スケジュール案には、令和 8 年度に交流会実施と記載はあるが、必ずこの時期に交流会を実施するというわけではなく、仮に令和 9 年度中の開園になった場合は、この時期に交流会が出来たら良いかなと思いスケジュール案に記載をしたものである。

●送迎について

- ・2 園の保育園を統合して、こども園が新設されると送迎者が増加することに伴い、園に入る車と出る車で県道が渋滞するのではないかと。渋滞への対応は行うのか。

(市)

⇒現在、こども園を含めた実施設計を進めている中で、保護者から子ども達が安全に登下校時できるように安全対策にしっかり対応してほしいとの意見をもらっているため、敷地内の駐車場を一方通行にすることや、標識を設置して事故

が起こらないような対策を予定している。

また、県道や市道の安全対策等については、現在、市の建設水道部や国等の補助金を活用して地域の方が住みやすい環境を整えていきたいと考えており、今後、関係部署と連携を図りながら、検討を深めてまいりたい。お話ができる段階になった報告したい。